

## P-13

### 米軍占領下におけるレクリエーションについて

○加藤 幸真〔日本大学大学院〕 内藤 真人〔日本大学大学院〕 澤村 博〔日本大学〕

キーワード：占領下、レクリエーション

昭和 21 年、日本厚生協会は日本厚生運動連合へと名称を変更し、昭和 23 年に日本レクリエーション協会へ改称した。

占領下における日本のレクリエーション運動が、当時どのような経緯を辿ったのか、今日まで十分に論じられていない。

本研究では、占領下（1945 年～1952 年）におけるレクリエーションを日本レクリエーション協会の活動を中心に明らかにすることを試みる。

## P-14

### M社スポーツキャンプにおける児童・保護者・主催者の意識調査

○内藤 真人（日本大学大学院） 加藤 幸真（日本大学大学院）  
澤村 博（日本大学）

キーワード：スポーツキャンプ、児童、保護者、主催者

1998 年中央教育審議会答申「新しい時代を拓く心を育てるために」では、子どもたちの自然体験・スポーツ活動を充実させることを保護者らに提言している。昨今、民間団体により様々な野外教育事業が展開されている。事業企画・運営者はそれぞれが持つ特色を活かしていかなければならない。

スポーツ事業者であるM社は、A市体育協会に委託され、長野県木島平村で「スポーツ」「アウトドア」「共同生活」を通じた特色のある野外教育事業を主管している。

本研究はM社が主管したスポーツキャンプについて、児童、保護者、主催者の3者がスポーツキャンプの実践を通して何を期待しているのか、キャンププログラムを購入する保護者が主催者に対してどのような効果を望むのか、また主催者が児童に対してどのような効果を望むのか、そして児童がキャンプを通してどのような体験をしてきたかについてアンケート調査し、その実態を明らかにすることを試みる。